様式第１号（第３条関係）

村上市長　宛

請書

（現況届）申請書

記入例 1号

現住所には、申請日時点の住民基本台帳（住民票）の住所を記入してください。
転入予定の方は現住所のほかに、転入予定日と転入先の住所も記入してください。
例：「令和9年4月1日　村上市〇〇〇に転入予定」

無を〇で囲んでください。

また、併せて施設　（入園）につ

これまで施設の利用をしたことがなくても、支給認定を受けたことがある場合は「現況届」にチェック☑を入れてください。継続利用の場合も「現況届」になります。

支給認定	申請区分	☑ **新規申請**（初めて支給認定　請をする）　・　☐ **現況届**（現に支給認定を受		
	保育の希望の有無	無（1号認定）　幼稚園、認定こども園（教育部分）の利用を希望する場合		
		有（2、3号認定）　保育園、認定こども園（保育部分）、地域型保育（小規模保育事業所、事業所内保育事 〈2ページの「保育の判定基準」に該当する方が選択できます。〉		
現住所		〒958 - 8501 村上市三之町１番１号	令和8/1/1現在の住所	同左（又は〇〇市〇〇町〇番〇号）
保護者①	ふりがな	むらかみ　たろう	令和9/1/1現在の住所	同左（又は〇〇市〇〇町〇番〇号）
	氏名	村上　太郎	自宅電話	〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇

『令和9/1/1現在の住所』欄について、令和9年1月1日以前に申請書を提出する方は記載不要です。

保護者①は同一氏名を記入

世帯分離をしている家族も全員記入してください。（生年月日や勤務先の欄も必ず全員分記入してください）欄が足りない場合は、2枚使用するなど、全員を記載するようにしてください。
申請児童と保護者が別居している場合は、勤務先名の後に「別居」と記載し、現住所を記入してください。**離婚予定の場合も同様です。**

申請児童の家族構成について記入してください　生計を一にする別居の兄弟姉妹（該当す　民票上同一の住所にお住まい の方も記入してください。なお、児童と別の住所　住んでいる祖父母がいる場合は、こちらの

区分	続柄		生年月日（歳）		同一生計	同居・別居の区分
申請児童	ふりがな	むらかみ　じろ	令和9年4月1日時点			
	本人	村上　二郎	（　4　歳） 平・令　〇年　〇月		☑	
申請児童の家族構成	保護者①	村上　太郎 （携帯）〇〇〇 － 〇〇〇〇 － 〇〇〇〇	（　〇〇　歳） 昭・平　〇年　〇月			同居 ・ 別居
	保護者②	村上　花子 （携帯）〇〇〇 － 〇〇〇〇 － 〇〇〇〇	（　〇〇　歳） 昭・平　〇年　〇月　〇日	〇〇商店 別居　△△市〇〇町〇－〇		同居 ・ 別居
	兄	村上　鮭太郎	歳） 日	（生計を一にする別居の兄弟姉妹の場合は住所も記入） 〇〇大学 別居　△△市〇〇町〇－〇	☑	同居 ・ 別居
	姉	村上　鮭子	〇日	（生計を一にする別居の兄弟姉妹の場合は住所も記入） こども保育園	☑	同居 ・ 別居
	祖父	朝日　昇	〇日	（生計を一にする別居の兄弟姉妹の場合は住所も記入） 無職	☑	同居 ・ 別居
	おば	朝日　杉子	歳） 〇日	（生計を一にする別居の兄弟姉妹の場合は住所も記入） 株式会社〇〇　〇〇支店	☐	同居 ・ 別居
	いとこ	朝日　杉太郎	〇日	（生計を一にする別居の兄弟姉妹の場合は住所も記入） こども幼稚園	☐	同居 ・ 別居

申請児童の兄弟が別に生活していて、かつ保護者が現に監護している時は、その兄弟についても記載し、勤務先・学校名の後に「別居」と記入のうえ、現住所地を記入し、同一生計にチェック☑してください。

いとこ等の親族についても、同世帯であれば記入してください。

施設を利用する期間	利用を希望する施設名と希望理由		
令和　9　年　4　月　1　日から 令和　10　年　3　月　31　日まで	第一希望　~~村上いずみ園~~　村上幼稚園 （理由）自宅から近いため	第二希望　村上いずみ園 （理由）勤務先に近いため	第三希望 （理由）

その他確認事項	ひとり親世帯（該当・非該当）	在宅障害者の状況（有・無）	所持している手帳名等	生活保護等の状況（有・無）
	該当する場合 ☐離婚（☐調定中）　☐未婚　☐別 ☐死別　☐その他（	障害児（者）名	☐ 身体障害者手帳 ☐ 療育手帳 ☐ 精神障害者保健福祉手帳 ☐ 特別児童扶養手当、障害基礎年金等の受給者	開始年月日　　年　月　日

※ 別紙「保育園等施設利用（入園）申請書の記入例」をよ　い。なお、

間違えた場合、修正液や修正テープは使わず、二重線で訂正してください。
※他のページも同様です。

在宅障害者の状況で「有」の場合、右欄の「所持している手帳名等」にチェック☑を付け、その手帳等のコピーを提出してください。

生活保護等の状況とは生活保護世帯または中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律による支援給付を受けている世帯です。

認定年月日	住民税課税状況	階層	利用者負担
	所得割［　］ 均等割［　］ 副食費［　］		
	所得割［　］ 均等割［　］ 副食費［　］		

課税の状況	前年度市町村民税	現年度市町村民税
①	所得割［　］ 均等割［　］	所得割［　］ 均等割［　］
②	所得割［　］ 均等割［　］	所得割［　］ 均等割［　］
	所得割［　］ 均等割［　］	所得割［　］ 均等割［　］
認定番号		
保育時間	保育標準時間 ・ 保育短時間	

内定施設　歳児　入園　歳児　入園

備考

記入不要

受付印

● 保育の必要性の認定とは ●

保護者が仕事や病気等で保育を必要としている家庭に対し、市が就労時間や家庭状況に応じた保育時間等の認定を行います。

● 保育の判定基準 ●

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

（１）	就労	家庭外、家庭内就労者で月48時間以上労働することを常態としていること
（２）	妊娠・出産	妊娠中であるか又は出産後間がないこと
（３）	保護者の疾病・障がい	疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障がいを有していること
（４）	介護・看護	同居又は長期間入院等をしている親族を常時介護又は看護していること
（５）	災害復旧	震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること
（６）	求職活動	求職活動（起業の準備を含む。）を継続的に行っていること
（７）	就学・職業訓練	学校、教育施設に在学していること 職業訓練を受けていること
（８）	虐待・ＤＶ	児童虐待を行っている又は再び行われるおそれがあり擁護が必要であること 配偶者からの暴力により子どもの保育を行うことが困難と認められること
（９）	育児休業	育児休業をする場合であって、すでに保育を利用している子どもがいて、継続利用が必要であると認められる場合
（１０）	その他	①第１子以降の３歳未満児クラスで既に保育を利用している子どもがいて、第２子以降の子を上記1～９の保育の事由以外で保育している場合
		②社会的養護が必要であると判断された場合

● 保育の利用時間 ●

保護者がそれぞれ月に就労する時間により、保育園を利用できる時間が違います。

保育利用時間区分	利用可能時間	保護者がそれぞれ１月に就労する時間
保育 標準時間	１日 11時間以内	概ね120時間程度を超える場合
保育 短時間	１日 ８時間以内	概ね48時間以上120時間未満

こちらは保育認定（2号･3号）用の説明文です

● 児童の状況 ●

◆現在の保育状況

- ☐ 保護者が保育
- ☐ 祖父母が保育
- ☐ 他人が保育
- ☐ 職場につれていく
- ☐ 一時預かりを利用
- ☑ 在園中（ 山辺里 保育園）
- ☐ その他（ ）

◆現在の健康状況

- ☐ 良い
- ☑ 普通
- ☐ 弱い→持病 ☐ 無 ☐ 有

病名：

◆集団保育にあたり配慮が必要なことを記入してください。

食物アレルギー ☐ 無 ☑ 有（鶏卵アレルギー）

行動面 ☐ 無 ☑ 有（ ）

健康面 ☑ 無 ☐ 有（ ）

- ☐ 発達外来
- ☐ こども発達支援所はる
- ☐ 療育相談
- ☑ 村上市ことばとこころの相談室
- ☐ その他（ ）

その他（下記に記入してください）

少し多動傾向なのが気になっており、月に１回ことばとこころの相談室に通っています。

お子さんの様子について、事前に面談･聞き取りを行う場合があります。ご了承ください。

4月1日（途中入園希望者は希望する月）の保護者の状況

	● 保護者①の状況 ●	● 保護者②の状況 ●
基　準	□ 就労　□ 介護・看護　□ 就学・職業訓練 □ 妊娠・出産　□ 災害復旧　□ 虐待・ＤＶ □ 疾病・負傷・障がい　□ 求職活動　□ 育児休業 □ その他（　　）	□ 就労　□ 介護・看護　□ 就学・職業訓練 □ 妊娠・出産　□ 災害復旧　□ 虐待・ＤＶ □ 疾病・負傷・障がい　□ 求職活動　□ 育児休業 □ その他（　　）
上記基準における保護者の状況		
就　労	□ 家庭外労働　□ その他（　　）	□ 家庭外労働　□ その他（　　）
就　学	□ （学校名：　　）	□ （学校名：　　）
不存在	□ 死亡　□ 離婚　□ 未婚　□ 別居 □ 調停中　□ 拘禁　□ 行方不明　□ その他	□ 死亡　□ 離婚　□ 未婚　□ 別居 □ 調停中　□ 拘禁　□ 行方不明　□ その他
出　産	・出産予定日（　　年　　月　　日） ・職場復帰（　　年　　月　　日） ・育児休業期間（　　年　　月　　日まで）	・出産予定日（　　年　　月　　日） ・職場復帰（　　年　　月　　日） ・育児休業期間（　　年　　月　　日まで）
疾病 負傷 障害	・病名、障害名（　　） ・障害者手帳の有無　□無　□有 ・状況　□入院　□自宅療養　□通院・通所	・病名、障害名（　　） ・障害者手帳の有無　□無　□有 ・状況　□入院　□自宅療養　□通院・通所
介　護 看　護	・被介護（看護）者氏名　（　　） ・同居の別　□同居　□別居 ・病名、障害名（　　） ・障害者手帳の有無　□無　□有（　　級） ・状況　□要介護（介護度　　度） □要支援　□その他（　　） □通院・通所　（月・週　　回）	・被介護（看護）者氏名　（　　） ・同居の別　□同居　□別居 ・病名、障害名（　　） ・障害者手帳の有無　□無　□有（　　級） ・状況　□要介護（介護度　　度） □要支援　□その他（　　） □通院・通所　（月・週　　回）
求職中	・内定　□無　□有	・内定　□無　□有

記入不要

● 保護者の就労時間 ●

◆保護者①の就労時間◆		◆保護者②の就労時間◆	
A　１日の就労時間	時間	A　１日の就労時間	時間
B　月の就労日数	日	B　月の就労日数	日
C　月の就労時間（A×B）	時間	C　月の就労時間（A×B）	時間

※ 就労証明書から就労時間及び日数を転記して計算してください。

※ B欄について：　就労証明書において、週の日数のみ記載されている場合は、『週の勤務日数』×４週で計算をしてください。

● 希望保育時間 ●

□	保育標準時間（最長11時間）
□	保育短時間（最長8時間）

※ 希望する保育時間にチェックをつけてください。

●児童と別の住所に住んでいる祖父母の状況●

祖父（保護者①の親）	祖母（保護者①の親）	祖父（保護者②の親）	祖母（保護者②の親）
氏名　（　　才）	氏名　（　　才）	氏名　荒川　清（　〇〇才）	氏名　荒川　清子（　〇〇才）
住所	住所	住所　村上市荒川〇〇	住所　村上市荒川〇〇
保育判定基準	保育判定基準	保育判定基準	保育判定基準
（　　）□無職　□不存在	（　　）□無職　□不存在	（　　）□無職　□不存在	（　１　）□無職　□不存在

記入不要

※ 保育判定基準は２ページの保育の判定基準から当てはまるものを選択、（　）内に数字を記入してください。

●　保育料算定に関する確認事項　●

　世帯状況の把握や正確な利用者負担額（村上市特定教育・保育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例第13条に規定する利用者負担額等をいう。）算定のため、担当課において同一世帯者・生計同一者を含む住民基本台帳・課税・福祉データを閲覧します。閲覧に承諾する場合は、同一世帯者・生計同一者すべての方が、閲覧について承諾することを必ず確認してください。
　また、利用者負担額算定に必要な書類を別途依頼する場合があります。閲覧について承諾がなく、利用者負担額算定に必要な書類の提出もないときは、利用者負担額を最高額で決定する場合があります。

☑　上記について、承諾します

●　児童手当に係る利用者負担額等の徴収に関する申出書　●

※利用者負担額等（保育料及び保育園給食（主食・副食）費）が未納となった場合、児童手当での納付に同意される方は下記を記入してください。

　私は、保育料（過年度分）及び保育園給食（主食・副食）費（現年度分・過年度分）の支払いに未納がある場合、児童手当法第２１条第１項又は第２項の規定に基づき村上市長が私に対する児童手当から、児童手当の支払期日をもって支払いに充てることを申し出ます。

記入不要

令和　　年　　月　　日

児童手当受給者氏名

児　童　の　氏　名